学力向上プラン〔国語〕科 1

研究主題 「基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化」

副主題 ~特別な教育的支援の視点をもった支援の工夫~

仮説

各教科を中心に、通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒を念頭におきな がら支援することで、学習活動への意欲が高まり、基礎学力が定着するであろう。

***	23 - 4 (b) - 1 2 2 1 1 1		
教科研究の	どの生徒に対しても、言葉の大切さを実感させ、言葉の力を高めるよ		
UD化テーマ	うな言語活動で、学び合う楽しさを実感できる授業		
教化における	教科で目指す子どもの姿		
方向性	○自分の考えに根拠をもって表現できる姿。(書く・話す・聞く)		
	○仲間の意見を認めて受け止め、お互いの考えを深める姿。(話す・聞く)		
	○文章の言葉を手がかりに、思いや主張を深く感じる姿。(読む・書く)		
	焦点化	視覚化	
	・めあての明確化。	・つけたい力と単元の流れを明示	
	取り組むべき活動をはっきりさ	し、生徒に学習の必要性を感じさ	
	せる。	せる。	
		・映像や関連資料等で、めあてに近	
		づく説明を端的に行う。	
	共有化	個別の配慮等	
	・ペアや班活動で、思考を深めさ	スモールステップを心がけ、課題	
	せ、課題を共有して解決していく	に対して、どこでつまずいている	
	場の設定を工夫する。	のかを見極めて一つ一つ指導して	
	・書くことで、課題が解決できたと	いく。	
	実感できる足跡を残す。	・補助プリントを準備する。	
個人研究の	個人研究テーマ		
方向性	○学級全員がわかる授業づくり		
	○言語感覚を豊かにし、表現力を向上させる。		
	○振り返りを確保し、学びを定着させる。		
	基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化のための工夫		
	○聞く時間を減らし、考える時間を増やす。		
	○1時間の中に思考を深め、書き込む時間を設定する。		
	○生徒の心が動く山場を意識して設定する。		
	○想定したつまずきに対する手立てを考えておく。		

学力向上プラン〔国語〕科 2

研究主題 「基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化」

副主題 ~特別な教育的支援の視点をもった支援の工夫~

仮説

各教科を中心に、通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒を念頭におきながら支援することで、学習活動への意欲が高まり、基礎学力が定着するであろう。

教科研究の	どの生徒に対しても、言葉の大切さを実感させ、言葉の力を高めるよ		
UD化テーマ	うな言語活動で、学び合う楽しさを実感できる授業		
教化における	教科で目指す子どもの姿		
方向性	○自分の考えに根拠をもって表現できる姿。(書く・話す・聞く)		
	○仲間の意見を認めて受け止め、お互いの考えを深める姿。(話す・聞く)		
	○文章の言葉を手がかりに、思いや主張を深く感じる姿。(読む・書く)		
	焦点化	視覚化	
	・めあての明確化。	・つけたい力と単元の流れを明示	
	・取り組むべき活動をはっきりさ	し、生徒に学習の必要性を感じさ	
	せる。	せる。	
		・映像や関連資料等で、めあてに近	
		づく説明を端的に行う。	
	共有化	個別の配慮等	
	・ペアや班活動で、思考を深めさ	スモールステップを心がけ、課題	
	せ、課題を共有して解決していく	に対して、どこでつまずいている	
	場の設定を工夫する。	のかを見極めて一つ一つ指導して	
	・書くことで、課題が解決できたと	いく。	
	実感できる足跡を残す。	・補助プリントを準備する。	
個人研究の	個人研究テーマ		
方向性	○本単元・本時で生徒に付けたい力が明確に位置付けられた授業展開。		
	○「書くこと」に関する課題を意図的な設定。		
	○目的が明確になるような指示と、簡潔な発問のための工夫。		
	基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化のための工夫 ○授業では、抽象的な指示は避け、「短い言葉で」「具体的に」話をする		
	○板書を工夫し、構造的なものにする。「書く」課題のときは、様子を観		
	察し、状況に応じてキーワードや手順を示す。		
	○「めあて」に対してどのように理解できたか、また、わからないところ はどこか説明させたり、まとめさせたりする。		